

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公開番号】特開 2004-269994 (P2004-269994A)

【公開日】平成 16 年 9 月 30 日 (2004.9.30)

【年通号数】公開・登録公報 2004-038

【出願番号】特願 2003-64628 (P2003-64628)

【国際特許分類】

C 2 2 C 19/07 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

C 2 2 F 1/18 (2006.01)

C 2 2 F 1/00 (2006.01)

【F I】

C 2 2 C 19/07 Z

A 6 1 L 27/00 L

C 2 2 F 1/18 Z

C 2 2 F 1/00 6 0 5

C 2 2 F 1/00 6 1 1

C 2 2 F 1/00 6 3 0 D

C 2 2 F 1/00 6 3 0 G

C 2 2 F 1/00 6 3 0 K

C 2 2 F 1/00 6 4 0 A

C 2 2 F 1/00 6 7 5

C 2 2 F 1/00 6 8 5 Z

C 2 2 F 1/00 6 9 1 B

C 2 2 F 1/00 6 9 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 3 日 (2006.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

【実施例 2】

表 1 の組成をもつ C o 基合金 6 0 0 g を高周波真空溶解炉で溶解し、1 5 5 0 の溶湯を水冷式銅製金型に流し込み、直径 3 0 m m , 長さ 8 0 m m の丸棒状鋳片を得た。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

【発明の効果】

以上に説明したように、本発明の C o 基合金は、水焼入れ後の熱処理で ε 単相に調整されているので、延性能が極めて高く、亀裂、破断等の加工欠陥なく目標形状に冷間加工できる。また、冷間加工で導入された多数の転位や歪みが後続する再結晶焼鈍過程で再結晶核として働き、耐磨耗性、疲労強度の向上に有効な 2 ~ 3 μ m 程度の微細化された組織が

再結晶焼鈍で得られる。そのため、高Mo-Vitalium本来の優れた耐食性に加え、耐磨耗性、疲労強度にも優れた生体用Co基合金として使用される。